



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『春』号
2020年 4月

小山せいそう事務所 苫小牧市ときわ町1丁目19-23 TEL0144(67)8255

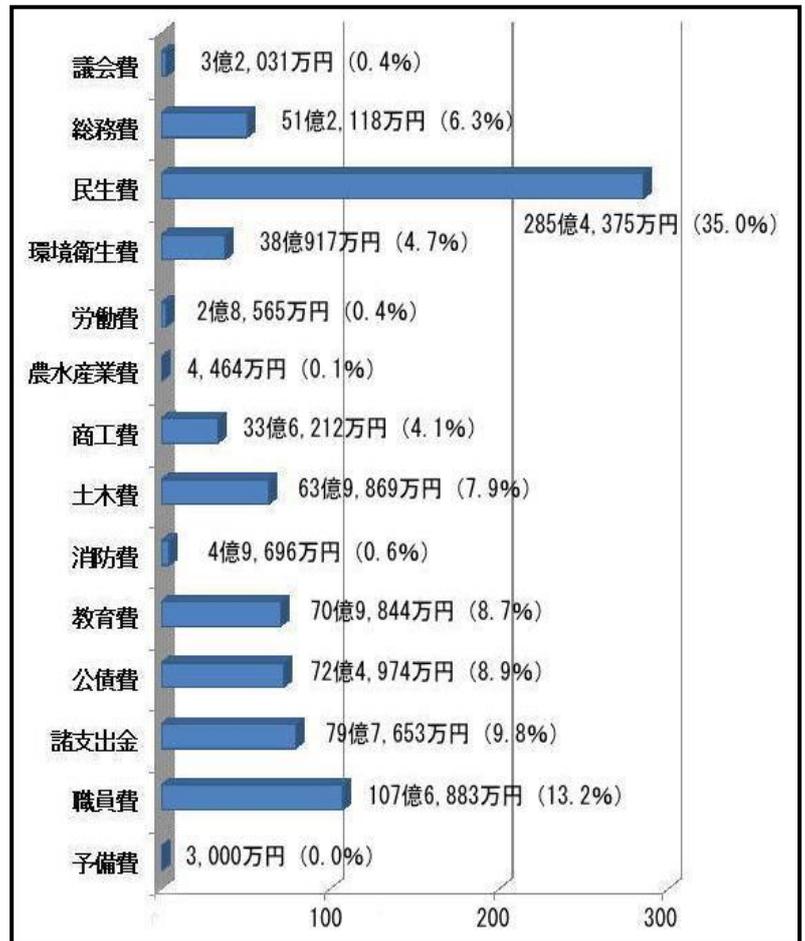
◇◇◇ 新型コロナ感染拡大で議会日程を大幅短縮 ◇◇◇

2020年度予算成立 総額 1,363億 4,899円

第6回市議会定例会は、2月20日（木）から3月13日（金）までの23日間を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため急遽3月6日（金）までの16日間に短縮し、報告3件、陳情2件、令和2年度各会計予算案など議案35件を可決しました。

予算審査特別委員会の質疑時間を短縮し、3月3日（火）～5日（木）の3日間で審査を終えました。また、各常任委員会及び特別委員会は今定例会での審査を行わず継続審査としました。

会計名	2020年度予算額 (単位：千円)
一般会計	81,506,000
特別会計	
国民健康保険事業	15,964,864
介護保険事業	14,383,804
後期高齢者医療	2,336,460
計	32,685,128
企業会計	
水道事業	4,416,831
下水道事業	6,225,974
市立病院事業	11,325,244
公設地方卸売市場事業	189,817
計	22,157,866
合計	136,348,994



《今議会を振り返って》

新型コロナウイルス感染拡大による経済の打撃、市民生活への影響は深刻さを増しています。今定例会での予算に関する質疑は、すでに終了しましたが今、最優先すべきは新型コロナ対策で、臨機応変に対応していくべきです。

特に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市民の不安解消と市民生活の安全・安心の確保に向けて、感染症対策を強化するとともに経済活動への影響を最小限に抑えるため、早急に補正予算を編成しなければなりません。



私の考える補正予算は、大きく分けて3点です。

- 1 新型コロナウイルス感染症への緊急的な対応として、相談窓口の周知(情報発信)と検査態勢の確保。
- 2 感染症に対する今後の備えとして、感染防護具等の備蓄や特殊救急車(陰圧型)などの整備。
- 3 市内産業・中小企業支援として緊急融資や緊急販路開拓助成事業などの実施。

今後は税収見込額などが予想以上に減ることも想定し、緊急性を要しない予算の一時凍結も考えなければなりません。財務や事業が合理的、効率的、経済的に行われているか、監査委員として引き続きしっかりチェックしてまいります。

専決処分

3月26日、コロナ緊急対策 総額5,220万円示す！ 市独自の小規模事業者向けパッケージ

新型コロナウイルス対策融資保証料補給事業 2,000万円

新型コロナウイルスの影響で、市内主要金融機関の融資を受けた小規模事業者のうち、信用保証協会による保証を利用した事業者を対象に、1融資当たり10万円を上限に信用保証料を補給する。

新型コロナウイルス対策消費喚起事業助成金 2,000万円

新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ消費活動の回復に向け、新たな手段で積極的に販路拡大、新規顧客の獲得を目指す店舗、またはイベントや企画によって集客を取り戻すための取り組みを行った店舗に対して最大10万円を助成する。

とまチョップポイント事業加盟店手数料補助事業 220万円

加盟店の負担軽減および今後の積極的なポイント発行促進を目的に、本年1月から3月分の加盟店発行ポイント手数料を補助する。4月から5月も継続実施し加盟店の負担軽減とポイント発行促進を図る。

新型コロナウイルス対策市内飲食配達サービス情報発信事業

新型コロナウイルスによる売り上げ減少をカバーする目的で、市内において実施している飲食配達サービス等を市のホームページ等で発信し、自宅や職場での活用を促す。

創業促進・商業にぎわい事業の予算増額及び特例の適用 1,000万円

新型コロナウイルスの影響を緩和、克服しようとする市内小規模事業者の支援を目的に、既存事業の予算を増額。要件緩和、優先採択、補助上限および補助率の引き上げを実施する。創業促進・商業にぎわい事業の予算を増額する。

西部地区の防災拠点始動 2020. 3. 27

2011年の東日本大震災以降、市議会で市内東西の防災拠点整備を求めてきました。

特に消防は、江戸時代の「火消し消防」と言われた時代から今や「地域防災の要」として、災害時の救出救護活動や高規格救急車による救命処置など市民生活の安全安心には欠かせない存在となっています。

苫小牧市は、石油コンビナートを有する工業都市として、昨今、頻発する地震や風水害などの自然災害に対応できるまちとして東西バランスの取れた消防体制の必要性を訴えてきました。その結果、2016年4月に高機能消防指令センターを備えた消防本部・消防署が新開町に開所。2018年4月には同敷地内に屋内訓練施設「消防防災訓練センター」が完成、運用を開始しました。今回は、旧日新出張所の2.5倍の延床面積、耐震性も通常の1.5倍の強度を持つ西部地区の最前線施設に位置付けられた新しい日新出張所が稼働を始めました。

今後は、災害のみならず感染予防対策など苫小牧市の「危機管理体制の在り方」を主軸に提言して参ります。



	旧庁舎	新庁舎
階数	地上2階	地上2階
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
延床面積	640.17㎡	1543.16㎡
建設場所	苫小牧市日新町4丁目2番1号	

《熱血現場主義》小さなことでも身近な問題を地域から発信します！

小山征三

検索

